

■□■□■□■□■□■□■□■□■
■□■
■□■ 岐阜県地域医療情報メール
■□■ 2014/2/28
□■□■□■□■□■□■□■□■□

「★ トピック ★
□ 「東海三県へき地医療研究会」が開催されました
ト ★ 医療機関からのPR ★
□ 【松波総合病院】家庭医療専門医取得が可能に
ト ★ 事務連絡 ★
□ メール配信バックナンバー掲載&意見募集

==★ トピック ★=====

■ 「東海三県へき地医療研究会」が開催されました

今月 22 日に、岐阜市において「東海三県へき地医療研究会」が開催されました。
研究会には、岐阜県・愛知県・三重県の医師や看護師・医療事務職員、行政関係者、医学生等総勢 37 名が参加し、各県の取り組みの紹介と、地域医療の課題とその解決方法についての意見交換がなされました。

研究会では、第 1 部として、まず、各県の地域医療の現場における取り組みが紹介されました。

愛知県は、都市の中核病院や、名古屋第一赤十字病院といった有名病院で勤務した経験があり、現在は地域の中堅病院の総合診療科で勤務する医師が発表を行いました。
演者は、これまでに自身が診療に従事した患者の統計データ（新患／救急等の来院方法、急性期／慢性期の別、主訴、転帰等）を詳細に記録しており、各々の病院の総合診療科における研修環境について、多角的な比較を行いました。
そのうえで、自身が現在勤務する病院における研修環境が、都市病院・有名病院と比較しても引けを取らない体制が整いつつあり、特に初期研修後専門科に行く前に総合的な診療能力を身に付けたい医師や、将来開業医を志す医師にとっては、最適なトレーニングの場になると結論付けました。

三重県は、病院に勤務するソーシャルワーカーが、医療・福祉・介護の連携のための取り組みについて発表しました。
演者が勤務する病院では、特に、医療・福祉・介護間の情報共有に力を入れており、医療の現場で蓄積された患者情報を、入院治療の場だけでなく、「情報提供書」や「看護サマリー」というかたちで退院後の支援の場にも活用する事例が紹介されました。これらの取り組みにより、入院患者が退院後在宅に戻りやすくなるなどの成果が上がっているとのこと。

そして岐阜県は、へき地診療所に勤務する医師により、地域

医療の現場で継続して勤務するために必要なファクターについての考察が発表されました。

演者は、自身が地域医療を専門とし継続している要因は、「楽しさ」「つながり」「学びの場」の3つであるとしました。

発表では、特に「学びの場」を維持していくために工夫している点について紹介され、テレビ会議や他の診療所医師と定期的に会合を行うなど、同期・先輩・医師仲間など、誰かと一緒に学びを続けることが重要であるとされました。

続いて行われた第2部では、『地域で生じた課題の解決方法を考えよう』というテーマについて、「ワールドカフェ」という手法により意見交換がなされました。

「ワールドカフェ」とは、リラックスした雰囲気オープンな会話ができる空間でこそ有用な知恵が生まれるという考えから、意図的にカフェのような空間を作り出し、席替え等も交えながら意見交換を行うという手法です。

私（メール作成者）自身も参加しましたが、医師、医学生の方等と、和やかな雰囲気の中で、楽しく意見交換を行うことができました。また、双方に一定程度の理解と信頼関係を築くことができたことも、貴重な成果だったと思います。

私が参加した班では、地域の中の立場・職種の違う人同士の間で生じる軋轢の問題について話し合われました。

解決方法として、まず立場の違う人同士が直接会い、話を聞き合うこと、その後意見を主張し合いながらも、最終的には合意形成を目指すことが重要であるとされました。

ただ、会議のような形の話し合いでは、楽しくない・面倒くさいものとなり継続が難しくなるため、「緩やかなネットワークの構築」が提案されました。

研究会の最後に行われた講評では、地域によって、様々な課題と解決方法があり、解決方法が一通りではないことが分かったことだけでも重要な成果であるとされました。

「東海三県へき地医療研究会」は毎年開催されます。今後、詳細が決まりましたら掲載しますので、ぜひご参加ください。

==★ 医療機関からのPR ★=====

■ 【松波総合病院】家庭医療専門医取得が可能に

当院には、総合内科を中心とした『MGH 総合診療医養成プログラム』があります。

この度、日本プライマリ・ケア連合学会の家庭医療専門医を取得できるプログラムとして認めていただきました。

<概要>

3年間の中で、総合内科を中心として、消化器や呼吸器や内分泌などの内科と救急、小児を学ぶことができます。

また、院外の総合在宅医療クリニックでは、街中の在宅医療のノウハウを学ぶことができます。

へき地医療については、山間部にある郡上市国保和良診療所での研修ができます。

<メリット>

1. 当院の総合内科はトリアージやニッチな内科ではなく、色々な内科疾患を最後まで診ることのできる珍しい診療科です。
2. 村山副院長の推奨される「総合プロブレム方式」を身につけることができる日本でも数少ない病院です。
3. 初期研修の延長として、総合内科医としてのスキルアップをはかれます。
4. もし、初期研修で自信を持てなかった方は、整った教育環境で研修をやり直せます。
5. まだ、どの内科に進もうか迷っている内科志望の先生には、選択する材料を提供できます。
6. いずれ開業や後を継ぐ先生にも、色々な疾患の経験により不安を払拭できます。

見学お待ちしております m(__)m

(文責：松波総合病院臨床研修医室)

【facebook←「いいね！」おまちしております\(^o^)/】

<https://www.facebook.com/pages/%E6%9D%BE%E6%B3%A2%E7%B7%8F%E5%90%88%E7%97%85%E9%99%A2/234823156533020>

==★ 事務連絡 ★=====

■ メール配信バックナンバー掲載&意見募集

下記ページに、地域医療情報メール配信のバックナンバーを掲載しました。既に今月配信分から掲載しております。

メール形式では見辛いという方は、ぜひホームページにアクセスいただき、ご覧ください。

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kenko-fukushi/kenko-iryu/iryu/ishikakuho-taisaku/chiki-iryu-joho-merumaga.html>

また、同ページにおいて、本メール配信に関する意見募集のためのアンケート画面を設けております。

本メール配信に関するご意見・ご要望、文句等、何でも結構ですので、ページにアクセスいただき、アンケートにご協力ください。

本メール配信に返信する形でも結構ですので、積極的にご意見をお寄せいただきますようお願いいたします。

